

2025年度 自己点検・自己評価

2026年4月1日
玉川国際学院文化部

5: 達成している 4: ほぼ達成している 3: どちらともいえない 2: 取り組みを検討中 1: 改善が必要

1. 教育の理念・目標	評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は明確か	5
1-3 理念に基づく教育が行われているか	5

<現状と課題>

本校は「学習者の日本語コミュニケーション能力を最大限に高める」という明確な理念のもと、日本語教育機関として日本語及び日本文化の伝達に尽力してきた。この理念は全教職員に共有されており、学生も教職員の熱意にこたえて日々真剣に授業に臨んでいる。

2. 学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 運営方針に沿った事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機構は有効に機能しているか	4
2-4 危機管理体制は整備されているか	5
2-5 教育目標達成に必要な教員の知識、能力や資質が明示されているか	5

<現状と課題>

学校設置者が策定した運営方針に基づき、年間事業計画を作成し、教育活動を計画的かつ適切に実施している。学生の進路実現を重要な教育目標と位置付け、進路指導体制を整備し、一人ひとりの希望や適性に応じた支援を行っている。また、教職員会議や定期的な打ち合わせを通じて学生情報や教育課題を共有し、クラス運営や学生指導に反映している。危機管理については、緊急連絡体制や対応マニュアルを整備するとともに、防災訓練や安全教育を実施し、学生が安心して学習や生活できる環境づくりに努めている。さらに、教職員は校内外の研修への参加や自己研鑽を通じて専門知識及び指導力の向上に継続的に取り組み、教育の質の向上を図っている。

3. 教職員	評価
3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
3-3 教職員評価が行われているか	5

<現状と課題>

本校では、教職員が教育理念を共有し、学生一人ひとりの成長と目標達成を支援することを共通の使命として教育活動に取り組んでいる。また、毎日に教職員ミーティングを実施し、学生指導や授業運営に関する情報共有、課題の検討及び改善策の協議を行うことで、教育の質の向上に努めている。さらに、校内研修や外部研修への参加を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員間の連携を強化し、より良い教育環境の整備に取り組んでいる。教職員の業務状況については、管理職による面談や業務評価を通じて適切に把握し、指導を行うことで、教職員の能力向上と組織全体の活性化に努めている。

4. 教育活動 評価

4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2 成績評価は適切に行われているか	5
4-3 各種日本語試験の合格率向上のための指導体制は整っているか	5
4-4 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか	4

<現状と課題>

入学時期や進路希望に応じた適切なカリキュラムを編成し、学生一人ひとりが目標とする進学先を実現できるよう、体系的な日本語教育を行っている。学習成果は定期試験や授業への取り組み状況を総合的に評価し、その結果を授業改善や個別指導に活用している。また、日本語能力試験（JLPT）や日本留学試験（EJU）など各種試験の合格を目指し、通常授業に加えて試験対策や模擬試験を実施することで、学生の日本語運用能力の向上に努めている。さらに、語彙・漢字・読解・会話・作文をバランスよく学べる授業を展開し、学生が実践的な日本語力を身に付けられるよう、教職員が連携して継続的な指導を行っている。

5. 学生支援 評価

5-1 進路に関する支援体制は整っているか	5
5-2 学生からの相談に乗る体制は有効に機能しているか	4
5-3 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-4 保護者と適切に連携しているか	4

<現状と課題>

進路に関する情報は、入学時から計画的に提供しており、進学説明会や個別面談を通じて、学生一人ひとりの希望や適性に応じた進路指導を行っている。進学に必要な志望理由書や履歴書の作成、面接対策についても、教員が個別にきめ細かく指導し、学生が希望する進路を実現できるよう支援している。また、学生生活全般については、担任を中心に定期的な面談を実施し、学習面や生活面の状況を把握するとともに、必要に応じて保護者や関係機関とも連携しながら適切な支援を行っている。住居に関する相談についても随時対応し、学生が安心して留学生活を送ることができる環境づくりに努めている。

6. 学生の募集と受け入れ	評価
6-1 学生の受入方針は定められているか	5
6-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
6-3 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5

<現状と課題>

本校では、「日本留学を通して夢を実現したい」という意欲を持つ学生の受け入れを基本方針として学生募集を行っている。海外の提携機関との連携を密にするとともに、学校ホームページやSNS等を活用し、本校の教育理念や教育内容、学校生活について積極的に情報発信を行っている。また、入学希望者や現地仲介機関からの問い合わせには、オンライン面談やメール等を通じて丁寧に対応し、正確な情報提供に努めている。入学選考は、提出書類、面接及び日本語能力等を総合的に判断し、公正かつ適切に実施している。さらに、就学目的や学習意欲、経費支弁能力についても十分に確認し、留学生生活を継続できると判断した者のみを受け入れている。現在は一部の募集国を対象にSNSを活用した広報活動を実施しており、学校生活や授業風景などを積極的に発信することで、本校の魅力をより分かりやすく伝える取り組みを進めている。

7. 在籍管理と生活指導	評価
7-1 日本在留に関する管理と指導が適切に行われているか	5
7-2 日本の法令を遵守させる取り組みが行われているか	5
7-3 学生について常に最新情報を把握しているか	4

<現状と課題>

入学時のオリエンテーションでは、日本で生活する上で必要なルールや法令遵守について十分な説明を行っている。また、担任による定期的な面談や出席状況の確認を通じて学生の生活や学習状況を把握し、必要に応じて個別指導を実施している。資格外活動時間や在留資格に関する諸手続きについても適切に管理指導を行い、法令違反の未然防止に努めている。